

2A01 工程情報と製造ノウハウのデジタル化

プレゼン：3月10日 A会場 16:30～ 設計と製造のダイナミックな協調

対象業務の現状と取組み

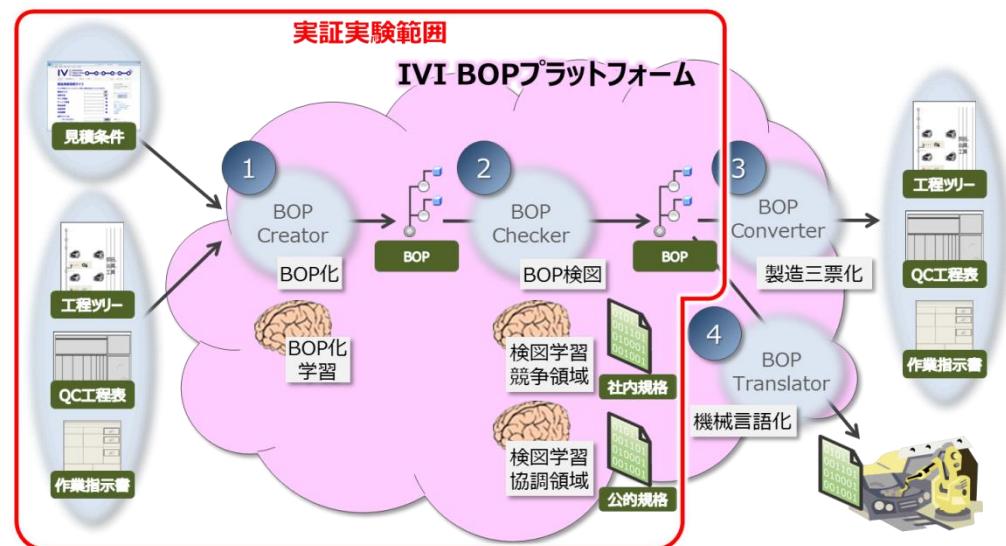
日本のものづくりの摺合せを、BOP（Bill Of Process）構築と自動検図で実現

製造現場での作業指示は、暗黙の了解などの【隙間】があり、なかなか伝わりません。この【隙間】を埋める【摺合せ】には多くのノウハウが潜み、日本の得意とするところですが、グローバル展開では弱点となりうる危険性もあります。

そこで、【摺合せ】のノウハウをデジタル化すべく、製造三票（工程ツリー、QC工程表、作業指示書）からBOPを構築し、AI（人工知能）ソリューション『BOP CHECKER』による検図の自動化を検討しています。単一工程の技術整合性のみならず、工程間の整合性チェックなども自動化、さらに工数分析を加え、QCDの担保を目指します。

実証実験・業務シナリオ（TO-BE）・成果

製造現場における、組立工程の清掃、締結作業と、基板実装工程において、幅広く収集した製造三票を基に、BOP構築、『BOP CHECKER』による自動検図を実証。検図ルールにJIS/ISO等の公的規格やカタログ値、各社独自の社内標準等が反映可能であり、かつ、設定されたルールに基づく正しい検図ができることを確認。



ファシリテータ：ブラザー工業

エディタ：オークマ

メンバ：日立製作所

三菱電機

図研プリサイト

日立ソリューションズ

アビームコンサルティング

西村栄昭

鷲見 仁

佃 軍治

寺澤直也

古矢知彦

松本俊子

森 宜幸



電通国際情報サービス

日本電気

ソニー GM&O

ジェイテクト

深堀竜也

松原芳明

村岡祥雄

山田良彦

